

鐵 と 鋼 第 37 年 (昭 和 26 年) 總 目 次

號 順 引 目 次

(數 字 は 頁 數 , 括 弧 内 の 數 字 は 會 誌 號 を 示 す)

一 論 說 一

年頭の辭	會長 田中 清治	1(1)
洞岡第一號コークス爐の再開に就て	長谷場七郎	2(1)
石灰による脱硫に関する一つの實驗	鷓野 達二	14(1)
鑄型乾燥に於ける變形に就て	西原 初馬	17(1)
鋼中に於ける水素の舉動に就て	河合 正吉	23(1)
過硫酸アンモン-亞硫酸ソダ法による鐵鋼中のMnの迅速定量法に就て(II)	細田 薫 川村 弘一	30(1)
高速度工具に関する研究(X)	堀田 秀次	35(1)
北海道炭コークスによる高爐操業	小野田武夫	1(2)
石灰による脱硫反應	鷓野 達二	8(2)
發生爐瓦斯平爐に於ける燃燒について	土居 寧文	11(2)
傾斜壓延に関する研究(I)	池島 俊雄	18(2)
鋼に於ける炭化物の球狀化について(II)	佐藤 知雄 矢島悦次郎	22(2)
高温工具鋼の研究(II)	多賀谷正義 足立 彰 松本 昭平 辻 克巳	27(2)
鑄鐵中の水素分析について	木下 禾大 原 寅吉	32(2)
マンガン鐵中の磷迅速分析法の研究	池上 卓穂 永岡 直	37(2)
冶金コークスの燃燒性並に生成の機構に就て	木内 俊二	1(3)
孔型の形狀と壓延材表面疵との關係	吉田 亮英	6(3)
Or 鋼滲炭層の特性とその熱處理による改善	三島 徳七 三橋鐵太郎	8(3)
各種強靱鋼の熱處理に関する研究(I)	河井 泰治 小川 楠雄	14(3)
熔鋼中の非金屬介在物に及ぼすクロムの作用に就て(II)	石塚 寛	16(3)
高速度工具に関する研究(XI)	堀田 秀次	24(3)
硫酸ヴァナゲルによる鐵鋼中のマンガンの迅速定量法	椿 勇	28(3)
エル-式電氣爐による低磷銑の製造	大石 進	1(4)
電氣爐鋼滓鹽基度の迅速判定法について	新持喜一郎	10(4)

鑄鋼材熔製法に関する考察(補遺)	木下 禾大	15(4)
焼入硬度曲線の形態(II)	三島 徳七 三橋鐵太郎	19(4)
各種強靱鋼の熱處理に関する研究(II)	河井 泰治 小川 楠雄	23(4)
纖維狀組織鋼の研究(III)	内山 道良	31(4)
コーライトの製造條件とコーライトの性質との關係	城 博	1(5)
珪石耐火物粒度調整について	稻村 泰	6(5)
ジルコニウム鋼に関する研究(I)	長谷川正義	12(5)
鐵鋼の材質に及ぼす酸素の影響(II)	齋藤 泰一	23(5)
鍛造用型鋼に関する研究	菅野 猛 船木 英吉	31(5)
含 Cu, Al 可鍛鑄鐵の研究	三島 徳七 三橋鐵太郎 田中 龍男	42(5)
鋼塊鑄型の溫度分布とそれに及ぼす湯道煉瓦噴出口の形狀効果について	山木 正義 須關 昭二	1(6)
鑄鋼製鑄型に就て(II)	深堀 佐市 安生 浩	9(6)
傾斜壓延に関する研究(II)	池島 俊雄	13(6)
鐵鋼中に於けるジルコニウム	三島 徳七 三橋鐵太郎	17(6)
特殊鑄鋼の研究(II)	三ヶ島秀雄	24(6)
白心可鍛鑄鐵の性質に就いて	内藤 逸策	31(6)
轉爐と高周波電氣爐の併用による純鐵の製造	嘉村 平八	1(7)
鹽基性電弧爐操業が非金屬介在物に及ぼす影響に就て	石塚 寛	4(7)
無ニッケル鋼々塊の偏析	鹽澤 正一	12(7)
特殊鑄鋼の研究(III)	三ヶ島秀雄	19(7)
鑄鐵中の酸素に関する一考察	木下 禾大 中島 益雄	27(7)
孔型の形狀と壓延材表面疵との關係(III)	吉田 亮英	34(7)
鐵鋼のマクロ蝕刻法	吉岡 正三	37(7)
熱診斷結果による鋼材加熱爐の能率上昇	設樂 正雄 岡田 小一	1(8)
ゼンマイ材料の熱處理に関する二三の問題	三島 徳七 三橋鐵太郎 淺野榮一郎	8(8)
電氣爐鑄鐵の性質に就て(II)	木下 禾大 小田原章男 木下 勝行	11(8)

特殊鑄鋼の研究(Ⅳ)……………三ヶ島秀雄…16(8)

鋼鑄物の鑄肌に就て……………西原 初馬…23(8)

パネ材料に関する研究(Ⅲ)……………堀田 秀次…28(8)

日本に於ける鐵鑛石の處理
と熔鑛爐の操業……………テイ・エル・
ジョセフ…31(8)

發生爐瓦斯平爐に於ける燃
焼に就て(Ⅲ)……………{土居 聖文…1(9)
田坂 鋼二

炭素による固體酸化鐵の還
元反應に及ぼす觸媒の影響……………{薄田 寛…7(9)
佐野 幸吉

溶鐵中の珪素、溶滓及びH₂—
HO₂ 間の平衡について(Ⅱ)……………{三本木貢治…13(9)
大谷 正康

焼入高速度鋼の常溫に於け
る Stabilization について……………{岡本 正三…19(9)
永倉 充

高クロム系高速度鋼に於ける
各種元素の影響(Ⅰ)……………小柴 定雄…23(9)

耕作農具の材質に関する研究
土壤と鋼材との磨耗に就て(Ⅰ)……………{長尾 肇…28(9)
南 力

オーステナイト可鍛鑄鐵の
研究(Ⅰ)……………提 信久…31(9)

燃燒容量法による高硫黃鐵
鋼中の炭素定量分析に於け
る硫黃の影響除去法の研究……………{池上 卓穂…36(9)
末松 一雄

リムド鋼の凝固速度、凝固中
の成分變化、浮滓について……………{下川 義雄…1(10)
田上 豊助

特殊鑄鋼の研究(Ⅴ)……………三ヶ島秀雄…10(10)

凝固時に於ける鑄物の凝固
面に及ぼす壓力の測定……………長尾 肇…15(10)

可鍛鑄鐵用熔銑に於ける
Mgの影響について……………{岡本 正三…18(10)
鳥取友治郎

時計ゼンマイ材料の研究(1)……………{三橋鐵太郎…22(10)
上野 學

鋼の高溫度に於ける諸變
化に及ぼす超音波の影響……………{田中 清治…25(10)
吉田 高明
高木甲子雄

高クロム系高速度鋼に於
ける各種元素の影響(Ⅱ)……………小柴 定雄…30(10)

輪西町第3高爐操業の特異
性について……………{小野田武夫…1(11)
楠野 桂三

リムド鋼の凝固途上のガス
放出について……………{下川 義雄…5(11)
田上 豊助

製鋼に於ける鋼滓のイオン
的舉動について……………松下 幸雄…11(11)

低炭素鋼の燒鈍脆性に關す
る研究……………菊池 浩介…20(11)

ジルコニウム鋼に關する
研究(Ⅱ)……………長谷川正義…29(11)

高壓筒材料の研究(Ⅰ)……………{阿部富美夫…39(11)
谷口 豊吉
齋藤 利生

特殊鑄鋼の研究(Ⅵ)……………三ヶ島秀雄…45(11)

硫化鐵のCOによる還元平衡……………{鶴野 達二…1(12)
本間 悅郎

特殊鑄鋼の研究(Ⅶ)……………三ヶ島秀雄…6(12)

鑄物砂微粒子配合の研究……………西原 初馬…16(12)

各種工具鋼の燒戻による硬
度と靱性の變化……………{出口喜勇爾…27(12)
須賀 利一

—抄 録—

單純酸化物スラッグ下の平衡について……………57(1)

小型轉爐に於ける酸素及び水蒸氣を含
む衝風による實驗……………57(1)

Investment Casting に
於て考慮すべき諸因子……………57(1)

過熱された鋼の粒界現象……………58(1)

燒戻鋼の應力—伸び曲線に於ける所謂
「踊り場」の機構について……………58(1)

粉末冶金による Fe-C 合金……………59(1)

金屬元素の原子直徑……………60(1)

Fe に対する各元素の溶解度の系統化
Ⅲ. 固溶限のある場合……………60(1)

Fe に対する各元素の溶解度の系統化 Ⅳ
限定されたオーステナイト固溶體……………60(1)

航空機用鋼材の疲勞限に及ぼす
Cr メッキの影響……………45(2)

鐵合金の土壤に對する腐蝕……………45(2)

電鑄板及び電鑄板—鐵合せ板の疲勞特性……………45(2)

Cr-Mo 鋼の高溫クリープに對する
電子顯微鏡の應用……………45(2)

ヴァナヂウム處理した深絞り用鋼……………46(2)

新しい鋼塊鑄型の塗布劑……………46(2)

MgO-BeO-ZrO₂3 元系と MgO-BeO-ThO₂三
元系耐火物の物理的性質との相關係について……………46(2)

1948年と1927年の國際溫度目盛の差異……………46(2)

復炭處理は軟化表面を克服する……………40(3)

1600°C 近傍に於ける CaO-FeO-Fe₂O₃
及び Mn-FeO-Fe₂O₃ 融液の組成と酸素
分壓の關係……………40(3)

加熱鋼材と爐内大氣との反應……………41(3)

過熱鋼の粒界現象……………42(3)

Fe-C 合金と鑄鐵との顯微鏡組織に及
ぼす2,3元素少量添加の影響……………42(3)

オーステナイトの Stabilization……………43(3)

Fe-Mn 系合金……………44(3)

鋼中の酸化組織の顯出法……………44(3)

石炭及其の灰分のスペクトル分析……………44(3)

電導測定による鋼中炭素定量法……………44(3)

チタニウムの靱性……………45(3)

浸出法による低品位鐵よりの Mn の回收……………45(3)

ロシアに於ける鐵及鋼の研究組織……………46(3)

小型轉爐によるベセマー鋼製造の工業實驗……………41(4)

トーマス滓を使用するトーマス銑の吹鍊……………41(4)

自動調整による電氣爐の生産高の増加……………41(4)

熔融金屬—スラック系に就ての起電力……………42(4)

- 電弧爐における酸化性スラッグ成分の計算……42(4)
- 熔鋼中の S の活量に対する Cu の影響……42(4)
- 三元及び多元系えの Gibbs-Duhem 方程式の應用……43(4)
- 鐵—炭素—窒素合金の恒温變態について……43(4)
- 焼入割れのファクター……43(4)
- 平爐取鍋用クレークラファイト煉瓦について……59(5)
- 熔鐵爐煉瓦積み of 化學的鑄物學的變化……59(5)
- 熔鐵爐用煉瓦崩壊性試験装置と操作……59(5)
- 製鋼に於ける酸素の利用……60(5)
- 出鋼湯受時に於ける熔鋼の酸化……60(5)
- インゴットの凝固の機構……61(5)
- 400~500°C の範圍に於ける鼠銑の變形特性……61(5)
- Cr-Ni-Al 不銹鋼……61(5)
- ウラニウムの凝固溫度……62(5)
- 低溫度で使用し得る断面收縮測定器……62(5)
- 製銑作業に対する酸素の使用……60(6)
- 高爐に対する水蒸氣の使用成績……60(6)
- PbO 添加によるトーマス鋼の介在物の除去……60(6)
- 酸素富化送風による低窒素トーマス鋼の製造……60(6)
- テレビジョン用の不銹鋼……61(6)
- 新析出硬化型不銹鋼(I)……61(6)
- Ni 及び Ni 合金の電気及び熱傳導度の間の關係……61(6)
- 300 エルステッド迄の磁化試験に使用し得る透磁率計……64(6)
- Fe₃O₄-Mn₃O₄ 二元系の高溫 x 線研究……64(6)
- 高爐の羽口形狀の改良……43(7)
- 硫化マンガ、硫化鐵及パイライトの高溫における熱含量……43(7)
- 熔融スラッグの構造と熱力學……43(7)
- 珪酸鹽融液中のシリカ及び酸化物の活量……44(7)
- 引抜又は伸張加工による塑性變形の研究……44(7)
- 鑄鐵の材料試験と機械的性質……44(7)
- 熔融亞鉛メッキ浴中にアルミニウムの使用……44(7)
- 新しいアンチモン鍍金……45(7)
- 製鐵所に於ける品質管理の動向……45(7)
- 轉爐に純酸素を使用した場合の銑から鋼えの變化……40(8)
- 溶鐵と FeO 低濃度のスラッグ間の S の分配……40(8)
- 炭素飽和鐵と CaO-SiO₂-Al₂O₃ 系スラッグの間における S の移動の機構……40(8)
- 溶鐵中のバナヂウム—酸素平衡……41(8)
- 冶金スラッグとその反應……41(8)
- 大形構造用鋼の溶接性について、脆性破壊敏感性の意義……42(8)
- 炭素鋼の焼入及び焼戻に對する電子顯微鏡による研究……42(8)
- 鐵及び鋼の時効現象……43(8)
- 工具鋼の硬度に對する焼戻し時間の影響……43(8)
- 弗化物の冶金反應……44(8)
- 平爐の鹽基性ポート及び主天井の構造……42(9)
- 取鍋耐火物と熔鋼との相互作用……42(9)
- 高爐の高壓操業—1950年—……42(9)
- 高爐の高壓操業に就て……43(9)
- 製鐵工場の秤量設備……43(9)
- ジェット式出鋼の安全豫防法……43(9)
- ジェット式の出鋼……44(9)
- 鋼の黒鉛化に關する二三の現象について……44(9)
- 鐵—セメント準安定系の存在の問題……44(9)
- CO 分解を防ぐ耐火煉瓦の處理……35(10)
- 銑鐵中の硫黃量調節に關する實驗……35(10)
- 鑄鐵の性質に及ぼす酸素の影響……35(10)
- 昇熱劑使用による低燐低窒素鋼の製造……36(10)
- 特殊鋼の酸素精鍊に就て……36(10)
- 鐵鋼の凝固點より最良の鑄込溫度……36(10)
- r 鐵に飽和した鐵珪酸鹽スラッグの熱力學……37(10)
- 低合金鋼の冷間加工硬化に對する熱處理及び合金元素の影響……38(10)
- 新しい加工法—鋼の冷間押出法……38(10)
- 金屬による炭化チタンの膠結……39(10)
- 日常作業記録の分析から得られた高爐生産に於ける燒結鑄の影響……63(11)
- 鋼塊の運搬時間と均熱爐操業に影響される鋼質……63(11)
- トーマス滓に含有する弗素の意義と素性……64(11)
- スラッグ、メタル平衡のイオン電離論第一部、基礎關係式の導入……64(11)
- 同上、第二部、鹽基性平爐操業えの應用……65(11)
- エネルギー工學計算によるトーマス法の材料經濟批判……66(11)
- インゴットモールドの壽命の増加とピレットの表面狀態の關係……66(11)
- 溶着金屬の脆性に及ぼす冷却速度及び組織の影響……66(11)
- 650°C に於ける Fe-Cr-Mo 合金狀態圖……67(11)
- 粉鑄の新處理法 Pelletising について……41(12)
- 製鐵製鋼に於ける S の管理……41(12)
- 平爐熔銑の脱珪について……42(12)
- 人工スラッグの表面張力と粘性第一部 二元系について……42(12)
- 同上第二部 三元系について……43(12)
- 冶金スラッグとその反應(第2部)……43(12)

クロムの回収を目的とした鹽基性平爐44(12)
 のクロムと鋼滓との反應について

特殊鋼の壓延前の豫備鍛造について44(12)

耐久磁石用 Cr-Ge 鋼44(12)

溶接構造用鋼の脆性破壊敏感性試験45(12)

— 技術資料 —

最近のバネ鋼に就て内山 道良...45(1)

米國旅行記橋口 隆吉...30(3)

大型高壓筒材料の製造阿部富美夫...47(5)

リムド鋼, キルド鋼, 及びセ { 菊池 浩介...38(9)
 ミキルド鋼の性質に就て { 堀川 一男

硫酸燒鑛の活用湯川 正夫...40(10)

最近の熔接棒三橋鐵太郎...51(11)

— 研究部會報告 —

鑄物部會報告(Ⅱ)菊池 浩介...39(2)

熱經濟部會熱精算專門委員會田中 清治...43(2)
 報告

發生爐ガス使用平爐標準寸法土居 寧文...36(4)

優良高級仕上鋼製造に關する下山田正俊...51(6)
 研究

二次製品部會磨帶鋼分科會報告 { 松永陽之助...39(7)
 山下 英造

特殊鋼部會第二小委員會報告40(7)

爐體の表面溫度測定に關す { 桑畑 一彦
 る基礎實驗 { 勝見 良平...58(11)
 角田 辰亥

鹽基性平爐による管用優良低寺田 二郎...35(12)
 炭素鋼の製造について (Ⅰ)

— 研究部會記事 —

鑄物部會第 1 回鑄型專門委員會69(1)

鑄物部會第 2 回鑄型專門委員會69(1)

鑄物部會第 1 回ロール專門委員會69(1)

〃 第 2 回 〃70(1)

特殊鋼部會第 3 小委員會50(3)

第13回製鋼部會50(3)

熱經濟技術部會, 第10回熱計器專門委員會50(3)

〃 第10回加熱爐專門委員會50(3)

特殊鋼部會第 9 回第 2 小委員會51(3)

鐵鋼二次製品部會第 8 回磨帶鋼分科會51(3)

特殊鋼部會第 8 回第 2 小委員會51(3)

鋼材部會第 8 回壓延理論分科會51(3)

平爐用耐火煉瓦特にペーシック煉瓦に51(3)
 ついての座談會

鑄物部會第 5 回ロール研究會52(3)

鑄物部會第 5 回鑄型研究會52(3)

特殊鋼部會第 4 回第 3 小委員會52(3)

鐵鋼第 2 次製品部會第 9 回磨帶鋼分科會54(3)

鋼材部會第 8 回中小形分科會40(4)

特殊鋼部會第 5 回第 3 小委員會40(4)

鋼材部會第 9 回壓延理論分科會67(5)

第14回製鋼部會67(5)

鋼材部會第 1 回分塊分科會67(5)

鑄物部會第 3 回鑄型專門委員會67(5)

〃 第 3 回ロール專門委員會68(5)

第 2 回銑鐵部會68(5)

鋼材部會第 2 回分塊分科會39(8)

〃 第 2 回薄板分科會39(8)

特殊鋼部會第11回第 2 小委員會45(9)

鋼材部會第10回中小形分科會45(9)

第17回製鋼部會44(10)

鐵鋼二次製品部會第12回磨帶鋼分科會44(10)

鋼材部會第 3 回分塊分科會44(10)

鑄物部會第 5 回鑄型專門委員會45(12)

〃 第 5 回ロール專門委員會45(12)

— 視察報告 —

アルゼンチンの鐵鋼業に就て内川 悟...40(Ⅰ)

米國鐵鋼視察餘談佐藤止戈夫...43(Ⅰ)

— 雜 錄 —

終戦後本邦鐵鋼生産情況(年別及び月別)每號卷末

日本鐵鋼協會記事每號卷末

日本鐵鋼協會第40回秋季講演大會見學65(1)
 班記事

日本鐵鋼協會(第41回) } 連合講演大會案内
 日本金屬學會 }

及び講演プログラム51(2)

鋼の壓延工場はパン焼き工場の香がす48(3)
 る(GHQ 民間情報教育局提供資料)

第36回通常總會に於ける昭和25年度會49(4)
 務報告記事摘録及昭和25年度收支決算
 並に昭和26年度收支豫算表

膨脹する英國の鑄物工業と原料問題65(5)
 (GHQ 民間情報教育局提供資料)

日本鐵鋼協會第41回講演大會見學工場見學記...48(7)

最近の富士製鐵・製鋼作業について(Ⅰ)52(7)

同 上 (Ⅱ)47(8)

同 上 (Ⅲ)48(9)

俵前會長八十歳誕生祝賀會記事53(7)

テイ・エル・ジョセフ氏講演「日本に於50(9)
 ける磁鐵石の處理と熔鐵爐の操業」に
 對する質疑應答

日本鐵鋼協會第42回講演大會，見學工
場見學記.....70(11)

— 附 錄 —

日本學術振興會第19小
委員會鐵鋼迅速分析法
鑄鐵中の磷定量方法.....65(6)

同 上
鐵及び鋼中のチタン定量法.....55(7)

同 上
鐵及び鋼(鑄鐵及銑鐵)中の非金属介
在物定量方法(電解法).....49(8)

同 上
鐵及び鋼(炭素鋼)中の非金属介在物.....52(9)
定量方法(電解法)

同 上
鐵及び鋼中マンガ定量法(第2法).....48(10)

同 上
フェロチタン中のアルミニウム定量方法.....75(11)

同 上
鐵及び鋼中窒素定量方法(第1法).....49(12)

日本鐵鋼協會第42回講演大會案内.....同封發送 (8)
及び講演プログラム

空氣分離裝置
 優秀な製鉄は酸素吹込裝置から！

酸素・窒素製造裝置
 各種ガス壓縮機
 一般化學機械裝置

日本理化工業

本社 東京都中央区銀座3ノ3 電話京橋6181~5・製作所 東京都大田區下丸子町304 電話蒲田3671~3